

## 船舶事故調査報告書

平成22年11月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委 員 横 山 鐵 男（部会長）  
委 員 山 本 哲 也  
委 員 根 本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	不明（平成21年12月23日 09時00分ごろ発見）
発生場所	宮崎県延岡市北浦港東北東方沖 北浦港宮之浦東防波堤灯台から真方位077° 18.3km 付近 （概位 北緯32° 44.0′ 東経132° 01.6′）
事故調査の経過	平成22年3月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>りゅうおう</sup> 龍王丸、19トン MZ2-10074（漁船登録番号）、有限会社龍王丸 17.70m (Lr) × 3.92m × 1.54m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数180、昭和58年7月5日
乗組員等に関する情報	船長 男性 49歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成11年6月12日 免許証交付日 平成21年6月10日 （平成26年8月5日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	機関室船首側内壁及び電気配線が焼損
事故の経過	本船は、船長ほか甲板員2人が乗り組み、北浦港東北東方沖を同港に向けて帰航中、平成21年12月23日09時00分ごろ、突然、主機の回転数が低下したため、船長が機関室を確認したところ、機関室から多量の煙が上がり、火災が発生していた。 本船は、乗組員及び僚船による消火活動で鎮火し、僚船に横抱きされて帰港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 3、視程 約1.5km 海象：穏やか
その他の事項	機関室は、左舷船首側付近が最も激しく焼損していた。 主機、補機及びバッテリー等は、焼損していなかった。 機関室左舷船首側付近の床下に配された船内電源用発電機の出力側配線が焼損しており、同配線に3ヶ所の短絡痕が認められた。 船内電源用発電機の出力側配線は、操舵室内の主配電盤に導かれていた。 本船は、出火後、主配電盤の元ブレーカーが遮断した。 本船は、昭和58年7月5日に進水し、船舶所有者が約12～13年前に中古購入したが、購入後、機関室内の配線について不良箇所の有無

	の点検が行われていなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、北浦港東北東方沖を同港に向けて帰航中、機関室左舷船首側付近の床下に配された電気配線が短絡したため、発生した火花によって被覆材が着火して出火した可能性があると考えられる。 電気配線は、漏電によるジュール熱で被覆材が熔融して短絡した可能性があると考えられる。 本船は、定期的に電気配線の点検が行われていれば、本事故の発生を回避することができた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が北浦港東北東方沖を同港に向けて帰航中、機関室左舷船首側付近の床下に配された電気配線が短絡したため、発生した火花によって被覆材が着火して出火したことにより発生した可能性があると考えられる。	